

SNSでの危険な誘い

SNSは、ネット上で簡単に親交を深めることができる便利なツールです。しかし、安全そうに見えても実は多くの危険が潜んでおり、重大な犯罪に巻き込まれる可能性があります。

実際に起こったトラブルの事例

ネットでの出会いに潜む危険

高校2年生のAさんは、SNSで同じアイドルのファンを名乗る「女子高生Bさん」と親しくなり、ライブに一緒に行く約束をしました。

しかし待ち合わせ場所に現れたのは中年男性で、Bさんは架空の人物でした。Aさんは無理やり車に乗せられそうになりましたが、逃げて交番に助けを求め、被害を免れました。



「長くやり取りしてるから安心」は危険！

高校生のCさんはオンラインゲームで知り合った相手と、ゲーム内の会話をきっかけにSNSでも連絡を取るようになりました。相手は同年代で近くに住んでいると話したり、共通の趣味の話題で親近感を持たせてきました。連絡を取るようになり、2か月が経ったところで、相手から「今度、近所で一緒に遊ばない？」と誘いがありました。Cさんは「長くやり取りしているから大丈夫」と安心し、その誘いに応じてしまいました。しかし、実際には相手は身元を偽っており、待ち合わせ場所に複数人が現れて脅され、金銭を要求される被害に遭いました。

トラブルに巻き込まれないために

どれだけ相手を信頼していたとしても自分の**個人情報**を教えないようにしましょう。

個人情報とは、氏名、住所、電話番号、顔写真、学校名等です。

相手が本当に実在しているかをネット上では判断できません。

年齢や性別はいくらでも偽れますし、写真は簡単に偽造できます。

個人情報や写真は一度送ると拡散される危険があります。

また、事例のように**実際に会ってしまうと連れ去られ、わいせつ被害や監禁などの重大な犯罪**に巻き込まれる可能性があります。

ネット上では相手の正体がわからないということを忘れないでください。

トラブルに巻き込まれないためにも前もって保護者の方とSNSの使い方やルールについて話し合っ決めて決める事も大切です。

「**自分は事件に巻き込まれることはない**」「**この人なら大丈夫**」

といった**思い込みで判断**することは危険です。



SNSでのやり取りで少しでも不安を覚えたらやり取りをやめ、保護者などの周りの人に相談をしましょう。

